

ノリ養殖環境速報 KH-06-01 (播磨灘)

2024年11月4,6日 調査
 2024年11月7日 発行

【概況と今後の動向見込み】

表層のDIN濃度は、東部海域では概ね4~6 $\mu\text{mol/L}$ 、西部海域では概ね2~6 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています。大型珪藻のコスキノディスクスワイレーは東部海域でやや多く確認されていますが、先月に比べ減少傾向です。

今後1週間の海域の栄養塩濃度の推移は現状維持か上昇傾向と考えられます。

※東部海域は11月4日、西部海域は11月6日の調査結果です。

- ・兵庫県の情報: <http://www.hyogo-suigi.jp/>
- ・岡山県の情報: <https://www.pref.okayama.jp/page/684505.html>
- ・香川県の情報: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【次回】 2024年11月15日発行予定
 【参考】 栄養塩の単位
 $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【表層水温(°C)】

白浜以西: 21.1 ~ 23.2, 家島諸島周辺: 21.1 ~ 22.7, 江井ヶ島・高砂周辺: 22.8 ~ 23.1, 明石海峡付近・西浦: 22.7 ~ 22.9, 鹿ノ瀬周辺: 22.2 ~ 23.0



